



2019年2月12日

各位

東京都千代田区外神田四丁目14番1号
株式会社 アクセル
代表取締役社長 松浦 一教
(コード番号6730 東証第1部)
問い合わせ先
執行役員 管理グループ 植野 悦匡
ゼネラルマネージャー
電話 03-5298-1670

(訂正・数値データ訂正)「2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」
の一部訂正について

2019年1月25日に公表いたしました「2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載に、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信致します。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております。

記

1. 訂正理由

四半期報告書の作成過程において会計監査人からの指摘があり、記載内容の一部に修正が生じたので提出済みの第3四半期決算短信の訂正を行うものであります。

2. 訂正内容

(1) サマリー情報

1. 2019年3月期第3四半期の業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

【訂正前】

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,618	△21.6	△1,488	—	△1,477	—	<u>△1,805</u>	—
2018年3月期第3四半期	4,613	△31.4	△446	—	△432	—	△145	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	<u>△161.36</u>	—
2018年3月期第3四半期	△12.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	<u>10,048</u>	<u>9,486</u>	94.4	<u>847.90</u>
2018年3月期	13,035	11,418	87.6	1,020.67

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,486百万円 2018年3月期 11,418百万円

【訂正後】

(1) 経営成績 (累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	3,618	△21.6	△1,488	—	△1,477	—	<u>△1,829</u>	—
2018年3月期第3四半期	4,613	△31.4	△446	—	△432	—	△145	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	<u>△163.51</u>	—
2018年3月期第3四半期	△12.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	<u>10,026</u>	<u>9,461</u>	94.4	<u>845.75</u>
2018年3月期	13,035	11,418	87.6	1,020.67

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,461百万円 2018年3月期 11,418百万円

(2) 添付資料2ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明 7段落目

【訂正前】

以上により、営業損失は1,488百万円(前年同四半期は営業損失446百万円)、経常損失は1,477百万円(前年同四半期は経常損失432百万円)となりました。また、当社が保有する投資有価証券について保守的な評価を実施した結果、特別損失として投資有価証券評価損234百万円を計上するとともに、繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増により、四半期純損失は1,805百万円(前年同四半期は四半期純損失145百万円)となりました。

【訂正後】

以上により、営業損失は1,488百万円(前年同四半期は営業損失446百万円)、経常損失は1,477百万円(前年同四半期は経常損失432百万円)となりました。また、当社が保有する投資有価証券について保守的な評価を実施した結果、特別損失として投資有価証券評価損234百万円を計上するとともに、繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増により、四半期純損失は1,829百万円(前年同四半期は四半期純損失145百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【訂正前】

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で2,987百万円減少となる10,048百万円（前事業年度末比22.9%減）となりました。主な要因は、商品及び製品の増加（826百万円）に対し、現金及び預金の減少（366百万円）、売掛金の減少（2,545百万円）、投資その他の資産の減少（397百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で1,054百万円減少となる562百万円（前事業年度末比65.2%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少（927百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で1,932百万円減少となる9,486百万円（前事業年度末比16.9%減）となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（1,861百万円）等によるものであります。

【訂正後】

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末との比較で3,008百万円減少となる10,026百万円（前事業年度末比23.1%減）となりました。主な要因は、商品及び製品の増加（826百万円）に対し、現金及び預金の減少（366百万円）、売掛金の減少（2,545百万円）、投資その他の資産の減少（419百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末との比較で1,051百万円減少となる564百万円（前事業年度末比65.1%減）となりました。主な要因は、買掛金の減少（927百万円）等によるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末との比較で1,956百万円減少となる9,461百万円（前事業年度末比17.1%減）となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（1,885百万円）等によるものであります。

(3) 添付資料3ページ

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

【訂正前】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,868	6,501
売掛金	3,304	759
商品及び製品	480	1,306
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	825	405
流動資産合計	11,479	8,973
固定資産		
有形固定資産	266	186
無形固定資産	32	29
投資その他の資産	1,256	858
固定資産合計	1,556	1,074
資産合計	13,035	10,048
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,344	416
未払法人税等	43	—
その他	193	107
流動負債合計	1,580	524
固定負債		
資産除去債務	35	37
固定負債合計	35	37
負債合計	1,616	562
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,398	7,536
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,278	9,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140	69
繰延ヘッジ損益	—	△0
評価・換算差額等合計	140	68
純資産合計	11,418	9,486
負債純資産合計	13,035	10,048

【訂正後】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,868	6,501
売掛金	3,304	759
商品及び製品	480	1,306
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	825	405
流動資産合計	11,479	8,973
固定資産		
有形固定資産	266	186
無形固定資産	32	29
投資その他の資産	1,256	837
固定資産合計	1,556	1,052
資産合計	13,035	10,026
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,344	416
未払法人税等	43	—
その他	193	107
流動負債合計	1,580	524
固定負債		
資産除去債務	35	37
その他	—	2
固定負債合計	35	40
負債合計	1,616	564
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018	1,018
資本剰余金	861	861
利益剰余金	9,398	7,512
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,278	9,393
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140	69
繰延ヘッジ損益	—	△0
評価・換算差額等合計	140	68
純資産合計	11,418	9,461
負債純資産合計	13,035	10,026

(4) 添付資料4ページ

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(2) 四半期損益計算書

(第3四半期累計期間)

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
(中略)		
税引前四半期純損失(△)	△506	△1,711
法人税等	△361	93
四半期純損失(△)	△145	△1,805

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
(中略)		
税引前四半期純損失(△)	△506	△1,711
法人税等	△361	117
四半期純損失(△)	△145	△1,829

(5) 添付資料5ページ

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

【訂正前】

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【訂正後】

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(6) 添付資料7ページ

3. その他

(2) 最近における四半期毎の業績の推移

【訂正前】

2019年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2018年4月～ 2018年6月	第2四半期 2018年7月～ 2018年9月	第3四半期 2018年10月～ 2018年12月	第4四半期 2019年1月～ 2019年3月
売上高	724	1,466	1,427	—
売上総利益	257	477	554	—
営業損失(△)	△1,258	△152	△77	—
経常損失(△)	△1,247	△156	△73	—
税引前四半期純損失(△)	△1,247	△166	△298	—
四半期純損失(△)	△871	△117	<u>△816</u>	—
1株当たり四半期純損失(△)	△77.88円	△10.50	<u>△72.96</u>	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,995	10,893	<u>10,048</u>	—
純資産	10,455	10,347	<u>9,486</u>	—
1株当たり純資産	934.60円	924.92円	<u>847.90</u>	—

【訂正後】

2019年3月期

(単位:百万円)

	第1四半期 2018年4月～ 2018年6月	第2四半期 2018年7月～ 2018年9月	第3四半期 2018年10月～ 2018年12月	第4四半期 2019年1月～ 2019年3月
売上高	724	1,466	1,427	—
売上総利益	257	477	554	—
営業損失(△)	△1,258	△152	△77	—
経常損失(△)	△1,247	△156	△73	—
税引前四半期純損失(△)	△1,247	△166	△298	—
四半期純損失(△)	△871	△117	<u>△840</u>	—
1株当たり四半期純損失(△)	△77.88円	△10.50	<u>△75.12</u>	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	10,995	10,893	<u>10,026</u>	—
純資産	10,455	10,347	<u>9,461</u>	—
1株当たり純資産	934.60円	924.92円	<u>845.75</u>	—

以上